

とべつ

子どもが行きたい小学校



コメを育て、心を育む学校。



子どもらしい子どもが育ちます。

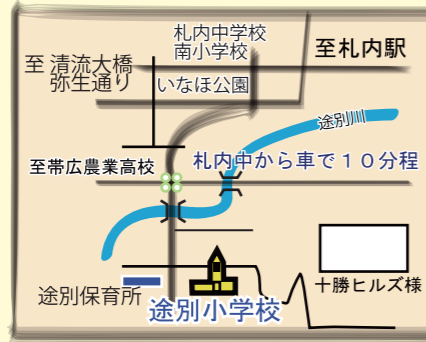
先生、保護者がどの児童の事も知っている安心であたたかい環境
 自然と地域愛に囲まれた学校生活は一生の宝です。
 ひとりひとりが大きな原動力、自立した子どもが育ちます。



2015.Jul.19



- 車でのアクセス
- JR札幌駅から／10分
 - JR幕別駅から／15分
 - JR帯広駅から／15分
 - 札内中学校から／8分
 - 札内北町から／15分
 - とち帯広空港から／20分
 - 札幌から／2時間30分



大規模校とは違った少人数だからこそ出来る事が沢山あります。
 一人一人の顔が見える学校生活。
 子どもらしい子どもが将来大人らしい大人に育ちます。

お問い合わせ先
 ○幕別町教育委員会 学校教育係 0155-54-2006
 ○幕別町立途別小学校 0155-56-5426

幕別町立途別小学校

〒089-0573 中川郡幕別町途別 222
 Email:tobetsusho1@makubetsu.jp

■学校ホームページ
<http://www.makubetsu.jp/tobetsushou/>



携帯用QRバーコード

学校案内
 がっこうのようす
 校地内に水田のある小学校

緑と地域愛に囲まれた、子どものパワースポット
幕別町立 途別小学校
 小規模校特別転入学制度導入校＝幕別町民なら校区外からも通えます

小規模特別転入学制度導入校

途別小の教育

内面を育て学習意欲を高める
体験的学習

— 「知」「徳」「体」のバランスがとれた教育 —



小さな学校大きな一人



【校章】

昭和36年に開校60周年を記念し、校章を制定。三角の突起部はペンの形をもじり、小学校の「小」と柏の葉、中央部は途別の「途」、まわりはカタカナで「ベツ」を図案化し、六角は雪の結晶、外側の二本の線は畑作、中の「ベ」の濁点で水稻を表している。

教育目標

明るく
楽しく
たくましく

特認校制度とは

「特認校」（小規模校特別転入学制度）とは「通学区域を越えて通学できる学校」を指しています。この「特認校」は、平成9年の文部省通知による「通学区制度の弾力的運用」などを踏まえて、設置者である教育委員会が通学区域の変更を認める制度です。

途別小学校は、複式の小規模校ですが、札幌市街から比較的近く、道路等の交通事情も整っています。更に学校は、自然豊かな地域の特性を生かし、米作りや農園活動などの体験的学習を取り入れた「特色ある教育活動」を推進しています。また、大規模校に馴染むことのできない子どもたち等の保護者より、少人数で親和的な雰囲気大切にしている途別小学校に就学させたいという希望があることから「特認校」として指定されています。

| H27年度児童数 | | | |
|----------|---|----|----|
| 学年 | 男 | 女 | 計 |
| 1年生 | 2 | 2 | 4 |
| 2年生 | 1 | 4 | 5 |
| 3年生 | 0 | 1 | 1 |
| 4年生 | 1 | 3 | 4 |
| 5年生 | 2 | 2 | 4 |
| 6年生 | 2 | 0 | 2 |
| 計 | 8 | 12 | 20 |

途別の流れ
桜にはえる
ほこりを高く
やさしく清く
われら楽しく
ゆたかなさとの
さえざる小鳥の
あすの文化を
共に手を取り
あ
あ
途別

水きよく
学びやに
かかげつつ
育ちゆく
育ちゆく
朝夕に
歌声と
きそいつつ
進みゆく
わが学びや

途別小学校校歌
作詞 紅林 阿木羅
作曲 加藤 けん三



学力を高めます

- ◇児童一人一人に目の行き届いた教育
- ◇言語活動を重視した課題解決的学習の推進
- ◇ICT機器を活用した授業の推進

知



食農教育



表現活動



豊かな人間性を育てます

- ◇自己肯定感と思いやりを重視したいじめのない学校づくり
- ◇道徳教育の充実
- ◇内面を育てる体験活動の推進
- ◇異学年たてわり班活動の推進

徳



国際理解教育



強く健やかな体を育てます

- ◇年間を通した計画的な体づくり
- ◇全校歯磨き活動
- ◇自分の身は自分で守る意識の醸成

体



ボランティア教育

小規模校特別転入学制度の利用で魅力いっぱいの本校へ

1 制度の目的

少人数での教育のよさを生かし、一人一人の児童に目の行き届いた教育、個に応じた指導、体験的活動を通して「生きる力～確かな学力・豊かな心・健やかな体」を培いたいという保護者の希望がある場合に一定の条件を付して、入学・転入学を認めるものです。

2 転入学の対象となる途別小学校の特色ある教育

- (1) 一人一人の児童をしっかりサポートし、少人数指導による確かな学力をはぐくみます。
- (2) 十勝稲作発祥の伝統を受け継いだ稲作体験学習や、作物の栽培、収穫等の農園活動を通じて生命尊重・思いやり等の豊かな心をはぐくみます。
- (3) 縦割り班活動を多く取り入れ、コミュニケーション能力を高めます。
- (4) 将来の夢やあこがれをもち、達成に向けて努力する子を育てます。

3 制度の考え方と転入学の条件

保護者の希望があり、かつ教育的な効果が期待できる場合に、通学状況や生活指導面などに十分配慮した上で、途別小学校に限り転入学が認められます。

- (1) 途別小学校の教育活動（PTA活動も含む）に賛同する幕別町内在住の保護者児童を対象とします。
- (2) 自然環境に恵まれた小規模校での指導を望み、自然に触れ、生きる力を育てたいという保護者の強い希望がある場合とします。
- (3) 複式学級であることを理解し、個人指導的要素を取り入れた少人数教育を希望する場合とします。
- (4) 原則として卒業までの通年通学とします。（限定した短期間の転入学は認めません。）
- (5) 卒業後は「幕別町立小・中学校通学区域規則」に定められた中学校へ進学することとなりますが、区域外通学の許可を受けることで、途別小学校を卒業する児童と一緒に、札幌中学校へ進学することもできます。

育

食

感

学

育てて食べて感じて学ぶ

365 一年の主な行事 DAYS

4月

- 入学式
- 交通安全教室

5月

- 途別校下をきれいに
- 春の遠足
- ジャガイモの植え付
- 代掻き・田植え・大豆小豆の種まき

6月

- 大運動会
- 集合学習(町内複式4校)

7月

- フットベース大会
- 親子ガラス拭き
- 野外炊事学習

8月

- JICA研修員との交流学习
- ミニバレーボール大会

9月

- 集合学習
- 水泳記録会
- じゃがいも収穫
- 稲刈り
- 交通安全キャンペーン

10月

- 途別校下をきれいに
- マラソン大会
- とべっこレストラン
- 稲の脱穀

11月

- 学習発表会

12月

- 精米作業
- 餅つき集会

1月

- スケート学習

2月

- 百人一首(老人会との交流)
- スキー学習
- 札幌南小学校での合同授業

3月

- 6年生を送る会
- 卒業式・修了式

入学式

毎年、新1年生が多くのお来賓や保護者の方々に見守られながら、担任の先生と手をつなぎ、元気な足取りで入場します。



地域の老人会の皆さんと一緒に毎年春と秋の2回、地域の清掃活動を行っています。



途別校下をきれいに

田植え

地域老人会の「稲作の先生方」にご協力をいただき、全校で「田植え」を行います。苗は毎年音更町の白木祐一さんから「きたゆきもち」をいただきます。「稲作の先生方」の説明を懸命に聞いたり、高学年の作業の様子を真剣に見たりしながら、低学年も田植えの仕方を覚えていきます。まさに三世代立体交流型の食育活動です。



大運動会

保育所、青年部の皆さんと合同で大運動会



子どもたちは、春から大切に育てた作物を食材に、自分たちで決めた料理を作ります。



とべっこレストラン

JICA研修員との交流学习



学習発表会



マラソン記録会



脱穀した稲を精米機にかけ、精米していきます。最後に手作業で細かい石やゴミを取り除きます。ここまで自分たちの手で行うと、成就感や達成感一杯になります。



精米作業

稲刈り

鎌の使い方等、老人会の方の手伝いを受けながら行います。



家庭にお父さん方が作ったリンクアスケート



卒業式・修了式

卒業児童も修了児童も一人一人ステージに上がり証書を受け取ります。



地域の老人会の方々と百人一首を行います。



百人一首

自分たちで育てたお米で餅つきお汁粉やきな粉も自家製です。地域の方々3世代が集まったの一大行事です。



3世代が集まって餅つき集会





●運動会でのとべっこよさこい

voice

保護者の方から

■ 私は3人の子どもを逄別小学校へ特認制度を利用して入学させました。この学校を知ったのは、町報に児童募集の案内があり、子どもたちが川で釣りをしている写真を見た時です。岐阜県のマンモス校出身の自分にとって周辺の田舎の学校は憧れでした。双子の長男長女も町報の写真を見て楽しそうと興味津々、さらに衝撃的だったのは学校へ見学に行ったとき児童たちが校長先生に抱き着いてはしゃいだり、担任の先生方に肩車をされたりしているではありませんか。校長先生にも子どもたちが「失礼します。校長先生!一緒に卓球しませんか〜」等と休み時間になだれ込んでくる。先生も親も児童も皆知っている環境、この先生との距離感、この姿を見てこれぞ本来ある学校を見たように感じました。子どもたちも元気で子どもらしい子どもの姿があり、迷いもなく入学させました。さらに驚いたのは地域の方やPTAの方々や学校との絆でした。田植えや畑、運動会や餅つき集会など常に子どもたちと地域の方々のふれあいがあり、それによって子どもたちが人生の先輩方から学ぶことも多く、生活の知恵や文化、礼儀等を学び受け継いでいく型があります。皆さんとても人情味あふれる素晴らしい方ばかりで、親自身、とても楽しくPTAライブを送る事が出来、自分もこんな学校に通いたかったと感じさせられました。本州出身の私たち夫婦にとって知人も頼れる人もいない中、学校を通じて地域の方に支えていただき、やっと地に足が着きました。本当にありがたく思っています。逄別小は上級生が下級生を見守り下級生は上級生から学ぶという実社会でも大切なものが実行されています。この学校の素晴らしいところは子ども自身が直感的にわかるようで、特認校制度で入られるお子さんの中には、前学校で登校が難しかったりする子も入学されますが転入後、毎日登校し見る見る元気になり、明るく本来の子どもに戻って行く姿を何人も目の当たりにしました。この学校の子どもパワーをつくづくと感じさせられます。学校は地域の核、地域で支える学校こそ子どもたちにとって最高の環境ではないでしょうか。今、国や多くの学校が目指している理想的な学校の姿でしょうね。この学校は子どもにとって地域にとって、国にとって宝だと確信しています。

■ 我が家は、特認校制度を経て帯広から逄別に移り住み2年目になります。逄別小学校のいいところは、先生と子どもとの距離が近く、本当に親身になって家族のように寄り添って育ててくれるところです。また小規模校ならではの行事が沢山あり、色々な経験をさせてあげることが出来ます。またその経験を通して気持ちや心を、個性を育ててくれる所だと思います。緑豊かな土地で、穏やかに子どもを育てる環境があり、何より子どもの顔つきが変わりました!それだけで家はこの学校を選んだ価値があったと思っています。

卒業生より

逄別のいいところは、自然がいっぱい、そして作物がいっぱいあるところです。自然がいっぱいということは、空気が美味しく、自然と触れ合う事が出来ます。ちなみに、良く学校の授業で、自然を観察しに行った時すごく楽しかったです。次に作物について、逄別は様々な作物があります。ジャガイモ、小豆、ビート、長芋等があり、小学校では米、大豆などを植えています。特に米は毎日観察したり、色々な人が手伝ってくれたりします。他にも逄別の人はとても優しいです。稲刈の時や、百人一首をする時に長寿会の人が来てくれたりします。小学校や保育所の先生も優しくかったです。特に担任の先生にはお世話になってました。これからも逄別がいい方向に進んでいる事を願っています。(乳内中2年K.Tさん)

私は特認校制度でこの逄別小学校へ来ました。なので、お兄ちゃんもお姉ちゃんも、特認校制度で入ってきた生徒です。この逄別では、近所に住んでいるおじいさんや、おばあさん方が私たちの事をまるで家族のように優しく接してくれるのです。なので逄別小ではおじいさんや、おばあさん方で作られた「長寿会」と、様々な行事や総合学習をしています。春から秋にかけて、長寿会の方たちが、昔行っていた米と一緒に育てたりします。方法や育て方も、毎日学校の田んぼを観察しながら長寿会の人たちに教えてもらっています。そして、冬には春から育てたもち米を使って餅つき集会という、子ども、親、長寿会と3世代がそろって行う行事があります。逄別小では本当に、沢山の経験が出来ました。これらの経験をして、私は今年の春、中学校へ入学しました。逄別は少人数の学校だから、中学校で友達が出来るかすごく不安でした。でも逄別小で学んだ積極的に動く力を身に付けていた私は、隣の子に話しかける事が出来、友達が出来たのです。友達の友達、その友達の友達、と、どんどん友達が増えて毎日がすごく楽しいです!!今では、沢山の友達と、楽しい学校生活を送っています。そんな素敵で自然がいっぱいの逄別で育って、私は幸せです。逄別小では本当に沢山の事を学べます。積極的に動く力、自然の恵みや豊かさ、人とのかわり、数えても数えきれません。私はこんな逄別小に通えた事を今でも誇りに思っています。あなたも、素敵で逄別小で、沢山の経験をしてみませんか。特認校制度を設けていますので、募別町に住んでいればどこからでも通えます。私は逄別小と逄別が大好きです。(乳内中1年N.Tさん)

逄別小学校では、様々な体験をすることが出来ます。1年を通し、四季に合わせた行事を学べ、日本の伝統的な農業をするなど、貴重な体験が出来ます。まずは春です。春は田植えをします。花笠と作務衣を身に着け1つ1つ手作業で丁寧に植えています。次は夏です。夏には太鼓やよさこいをします。運動会の際にも披露します。また、欠かさず田んぼの草取りもします。そして秋です。秋では、とべっ子レストランがあります。畑の野菜を収穫しそれを調理し、みんなで食べます。また稲刈りもします。稲刈りや田植えの時は地域の皆さんに教わりながら作業します。最後に冬です。冬は餅つき集会をします。秋に収穫した稲を脱穀し精米し選別して餅にします。地域の皆さんやおじいちゃん、おばあちゃんをお呼びみんなで作り、みんなで食べます。このように逄別小学校では四季折々の体験が出来ます。この体験により私は大きく成長する事が出来たと思います。(乳内中1年N.Kさん)

私の考える逄別小のいいところは2つあります。1つ目は、他では学べないスキーを逄別小で学べるという事。理由は、他の学校では人数が多い為、行くとしたら1クラスずつバスに乗らなければ、スキー場には到底行くことが出来ません。それに費用も掛かります。その分、逄別小は人数が少ない為、バスも1台でいいので費用もそんなに掛かりません。だからこそ田舎の学校はスキー学習を企画出来るんです。こんないい話には他にはないと思います。2つ目は、農業を学ぶ事が出来るという事です。理由は、農業を学べるということは、育てた作物を収穫し、調理し、そしておいしくいただく、という事も、もちろん出来るということです。これらの事を続ける事で、「食」の大切さを学ぶという事にもつながります。こういう事が出来るのも逄別小だけだと思います。これらの事が、私の考える逄別小の良いところです。(乳内中2年.K.Tさん)



地区の春祭りで子ども相撲奉納

小規模校って? 学力や生活は?



●運動会での百年太鼓演奏

Q. 少人数の学校で人間関係が固定化され大人数の中学校で友達が出来ますか

A. そういったご心配の声を良く耳にしますが、これは大人数や少人数だからというより本人の性格や環境など、色々な要素があり一概に少人数だからという事にはならないようです。1人が交際できる範囲は120人前後、また深い付き合いが出来るのはせいぜい5、6人くらいだといわれています。自分自身に当てはめてもそうかもしれませんね。かえて大人数の方が人間関係に悩むことも考えられます。大規模校なら誰もが友達が沢山いて人づきあいが上手い子どもばかりではないように小規模校でも人づきあいが上手くできる子どもと苦手な子供が同じようにいます。かえて小規模校の場合は個々の繋がりは深いので、友達と交わっていくうちに慣れ親しんで普通に人づきあいもできるようになって行きます。また縦割り班により上級生は下級生の力となり、下級生は上級生から学ぶ環境にあります。また小規模校では一人一人の居場所があり、各々の役割が大きくなります。在学中、それぞれがリーダーとしての役割を経験する事となり、自分自身の大きな自信へとつながって行きます。自分自身に自信をもち自己を形成出来る事で真の人づきあいが出来ていくものと考えます。加えて、本校では隣接の小規模校や大規模校との交流や、中学校の出前授業等で子ども同士の交流を図っています。

Q. 少人数だと大勢で行うスポーツは無理ですか

A. サッカーやソフトボールなど、たくさん的人数が必要な種目については、近隣の小規模校と合同で行う「集合学習」で扱っています。日常的には、フットボールやミニバレーボールなどに力を入れ、体力の向上を図っています。

Q. 特認校の場合通学はどうなるのでしょうか

A. 通学は基本的に保護者による送迎が必要です。春から秋までは自転車通学も認めていますので、途別在住の児童との待ち合わせ場所まで送り、そこから自転車や徒歩で集団登校をするという方法が主となっています。下校については、待ち合わせ場所まで集団下校をし、待機していただいた保護者の方と合流し、帰宅するという方法が主となっています。冬季は同じ方法で徒歩による集団登下校の方法をとられる方が多くなっていますが、雨や雪、強風などの荒天の場合は、車での送迎が主となっています。

Q. 学力についてはどうですか

A. 少人数学級の特性を生かし、一人一人に目の届く個別指導を重視しています。それぞれの子どもたちの学習ペースや理解度をしっかりと把握し、みんながわかりやすく学べる授業づくりを進めています。子どもたちから「よくわかる。」「楽しい。」「という声が聞こえ、近年の学力調査等では、全国レベルに近い状況も生まれています。授業は基本的に複式学級で学年人数により単式になります。ICTを皆が活用出来るため、子どもたちが自ら学ぶ意識が高まる環境にあります。